

## 平成30年度 第2回理事会議事録

日時：7月9日月曜日 19時より

場所：谷野呉山病院

出席者：齋藤、松岡、作田、島津、丸本、吉波、橋爪、森、松本、渡邊、藤井、大平、能登、吉村、桐山

### 《報告事項》

#### 1. 県士会組織、構成について

- ・倫理委員会：大野氏（射水市民病院） 継続
- ・選挙管理委員会：菱田氏（矢野神経内科） 継続

#### 2. 各種事業について

##### 2-1. 協会事業:介護用ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会

キックオフ会議に松岡理事、渡邊理事が出席。

県士会は、一般公募枠で、年度内に介護ロボットの提案や開発に関する意見をまとめる。

構成員は、委員長:齋藤、メンバー:松岡理事、渡邊理事（事務）、太田氏（深川病院）、浜出氏（つつま園）、佐藤氏（ささづ苑）、プロジェクト・コーディネーター:中林美奈子氏(ニーズ側:富山大学)、高橋哲郎氏(シーズ側:石川県リハセンター)。中島一樹氏（交渉中）

##### 2-2. ねんりんピック

健康と長寿の祭典がねんりんピックの関連イベントとなり、PT、OT、ST で予防に関するブースを出展予定。作業療法は、普及指導部中心に、作品展示や福祉用具展示、認知症作業療法委員会による体操や検査など予定。

##### 2-3.

#### 3. 協会からの連絡

##### 3-1. 障害福祉領域に関する養成教育の実態に関する調査結果（協会 HP 掲載）

##### 3-2. 総合事業実践事例集（協会 HP 掲載）

##### 3-3. 診療報酬および厚労省関連委員会について（各 HP 確認）

##### 3-4. 協会のサーバーダウン（7月9日時点で完全に停止）

#### 4. 各部会、委員会などより

##### 4-1. 教育部会

7月21日、22日 OT 協会「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」に、赤尾氏(地域アドバイザー委員長)、藤井理事を派遣。

現職者研修(2回目)を8月5日に開催予定。26名参加予定。

MTDLP 基礎研修会を9月2日に開催予定。3県合同研修会を富山で開催予定。

新人教育プログラム事例検討・事例報告会について、地区を合同し10月に開催予定。

##### 4-2. 精神障害部会

研修会を6月17日に開催。30名程度の参加。

##### 4-3. 発達障害部会

研修会を7月28日に開催予定。

#### 4-4. 身体障害部会

研修会を11月11日に開催予定。

#### 4-5. 認知症作業療法委員会

HPを更新予定。ねんりんピック関連イベントの準備を予定。

#### 4-6. 普及指導事業部

作業療法体験会を7月22日、8月19日に開催予定。

#### 4-7. 広報部

次号県士会ニュースに、会長巻頭言および新理事挨拶を掲載予定。  
新しい理事名刺を作成する。

#### 4-8. 福利厚生部

9月5日19時より懇親会を開催予定(場所は富山駅周辺を予定)。

### 《検討決定事項》

#### 1. 各種事業について

##### 1-1. 2020年東海北陸学会

事前準備委員会を設け、今年度中に2回程度開催予定。齋藤氏、丸本氏、島津氏、  
他、過去の県学会、東海北陸学会の貢献を踏まえ、1~2名選出する。

##### 1-2. 東海北陸リーダー養成研修会

12月1~2日に、大垣市で開催予定。新理事に加え、部長や委員長などから、計5名  
次回理事会までに候補者を選出する。

##### 1-3. 富山精神保健福祉協議会功労表彰の推薦について

所属での受賞歴を協議会事務局に確認し、県士会長より候補者を選出する。

##### 1-4. 協会47委員会精神科ワーキングチームアンケート依頼

精神障害部会と協議し、県士会長が回答する。

##### 1-5. 特別支援事業について

年間10件程度、作業療法士の派遣とその後の対応を行い、教材購入も実施。  
当派遣事業の派遣費の見直しを発達障害部会より提案。総会直後でもあり、また、実績などの  
詳細を次回、理事会に提出してもらい、改めて検討する。

#### 2. 各種研修会などについて

##### 2-1. SIG認定について

富山民医連リハビリ研修会の認定申請を保留。SIG認定基準や流れの明確化、書面化などを  
教育部で検討。

##### 2-2. 主任介護支援専門員更新要件について

富山県から要件に該当する研修会について問い合わせあり、教育部より返答。2時間の  
ケアマネジメントに関する研修会が対象であり、要件を満たすような研修会については、  
2時間枠で設定するなど、各部会や委員会で検討。

##### 2-3. 後援協賛などについて

これまで基準はなく、県士会長一任であったため、基準や規定を作り公開する。  
後援依頼のあったロコモ検診は、理学療法士会の状況を確認し、島津事務局長より返答。

3. 各部会、委員会などより

3-1. 定款について

HP へ掲載する。

3-2. 神経難病患者の自己体験を語る機会の相談について

ALS の講演ができる場がないか、県リハより事務局へ問い合わせあり。日程調整が難しいため、「きつときと」新聞で取材可能な旨を、松岡副会長より県リハへ返答。

《その他》

協会の各種委員会出席後の報告は、報告書と共に、可能であれば、資料回覧や PDF 形式で添付